

小学部四年A組

わたしはきせつ

わたしは春

川の上 さくらをひからせて

黄緑 はっぱを育ててる

ぼくは夏

せみの歌 自ぜんのおーケストラ

真っ赤な太陽かがやかせて

わたしは秋

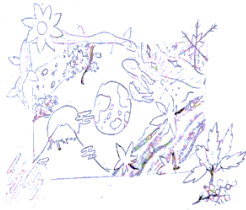
にじ色にそまったあの葉っぱ

すずしい風をふかせて

ぼくは冬

あのとときの川をこおらせて

雪のほう石をちりばめて・・・



渡辺
みあ

あめ、光

藤田
理史奈

公園で遊んでいて
光がいなくなった

「サヨナラ」のかわりに
暗い雲と雨をのこして

まだ光は帰ってこない
真っ暗な夜につづくサイレン

夏休みの思い出

浏览
雄斗

ぼくは、夏休みに家族でカンクンに行きました。ヒューストーンからカンクンまでは飛行機で二時間かかりました。

カンクンに着いてから船でホテルのある島まで行きました。船の上から海を見た時、海の水がとうめいで海の底が見えました。水がともきれいだなと思いました。

ホテルには、二つもプールがありました。ホテルの前にはビーチがあり魚がいっぱいいました。ぼくは、ここでお父さんとつりをしたいなと思いました。

二日目の朝、ホテルでカートをかりて島を一周しました。カートに乗っているときは風が気持ちよくて、ぼくはずっとカートに乗っていたいなと思いました。海でもたくさん遊んで見たことのない魚をいっぱい見つけました。

ぼくは、すごく楽しかったので旅行が終わってほしくないなと思いました。ずっとここにいたいなと思いました。

四日目の朝は早く起きて、ジンベイザメといっしょに泳ぐツアーに参加しました。ツアーの船に乗っている時に、イルカとウミガメも見ました。ぼくは、好きなイルカとウミガメが両方見られてうれしかったです。

そして、サメといっしょに泳ぐ前、ぼくは少しきんちようしていました。ジンベイザメといっしょに泳ぐ時は、ガイドさんとお父さんと三人で泳いだのでぼくはこわくありませんでした。でも、ジンベイザメはとても速くてついていくのがたいへんでした。母は泳ぐのになれていないので少ししかサメを見られませんでした。ぼくとお父さんは二回もサメといっしょに泳ぐことができました。もっと長い時間、海にもぐってみたいなと思いました。

海でたくさん遊んでホテルでおいしいご飯を食べて、ぼくはとても幸せだなと感じたので、ここに住んでみたいなと思いました。アメリカに住んでいる間にもう一度この島に来たいです。

かわいい乗り物

垂石 七乃葉

わたしは、夏休みに東北地方を走るピカチュウトレインに乗りました。一関（いちのせき）と気（け）せんぬまをおうふくする電車なのですが、わたしたちはげいびけいから気せんぬままで乗りました。

ピカチュウトレインの中には、大きなピカチュウが二ひき、小さなピカチュウがたくさんいました。ピカチュウをさわったらやわらかくてムニムニユしていました。止まる駅にはスタンプがあって、止まるたびにおしに行きました。もようがかわいかったです。

ピカチュウトレインから外を見みると、手をふってくれる人がいました。汽車には子どもがたくさん乗っていましたが、大人だけで乗っている人もいました。ピカチュウの上からねっころがったり、あなの中にボールを入れて遊んだり、たくさんさんのピカチュウをまどにならべたりしました。そして、たくさんさんの写真をとりました。遊んでいるうちに、あつという間に気せんぬまに着いてしまいました。もう少し乗っていたかったです。

ピカチュウとまた遊びたいのでまた乗りたいです。

現地の校の新学期

勝野 裕貴

「アイ・ライク・ピザ」

自分の順番になった時に、ぼくはこう言いました。

これは、ぼくがヒューストンの現地に通いはじめて二日目の二時間目のじゅ業で、好きなことあわせゲームをした時の事です。このゲームは、自分の好きな物を順番に言っていくというものです。そして、この日のゲームのテーマは、好きな食べ物でした。

現地の校のランチは二種類のメインメニューから一つを選ぶ仕組みになっています。この日のランチでぼくはピザをたのみました。みんなといっしょに食べたピザがとてもおいしかったので、ぼくはピザが好きだと答えたのです。答えた後に、クラスメイトのみんなもピザが好きだと分かりました。

ぼくは転校するのが初めてなので少し不安でした。でも、ピザのおかげでクラスメイトに何となく近づくことができました気がして、うれしかったです。

みんなといっしょに会話をしながら食べるランチは、とてもおいしくて楽しかったです。ぼくはランチの時間が大好きです。

現地の学校の新学期

高橋 岳

新学期になり前とちがうクラスになりました。クラスに入った時、初めて会った子が多かったのできんちようしました。でも、仲の良い友達が一人いたので安心しました。

そして、初めて会った子とも仲良くなることができましたので、うれしかったです。

ぼくがやっているスポーツの中で一番友達ができたのがサッカーです。ぼくはサッカーはまあまあうまい方なので、それで友達ができました。

ぼくは新学期になってきんちようしていたので、少しこわかったけどいろいろなことがあって楽しいです。これからも元気にがんばります。

リレー

大川 ろさ

私(わたし)は、リレー代表選手に選ばれました。

十一月一日第四十七回ヒューストン日本語補習(ほ)習校運動会が補習校のグラウンドで開かれました。

私たち小学四年生から中高生までは、第二部だったので午前十時十五分からでした。

私が一番心に残ったことは、リレーです。なぜなら、私は走るのもともと好きでリレー代表選手に選ばれたときはうれしかったです。

私がリレーで走っているときに、「白組！」と、みんながおうえんしている声とみんながさげんでいる姿が見えました。

バトンを次の人にわたしたときは、「やり切った。」「転ばなくてよかった。」と思いました。リレーが終わった後に、友達から

「足速かったね。」
と言われてうれしかったです。

わたしは、運動会が好きなので、またリレーの選手になって運動会をしたいです。

毎年勝ちます、運動会

福田 一輝

十一月一日、ぼくが通う日本語補習校で運動会がありました。げん地校ではフィールドデーがあっても運動会はありません。

最初に赤組と白組に分かれました。ぼくは赤組でした。ぼくのいた組は、これまでの運動会でいつも勝っていました。けれども、ぼくの親友は一年生の時から一回も勝つことがなく、ぼくは毎回それをからかっています。組を分けた後、練習は四回しかありませんでしたが、ぼく達は楽しみながら一生懸命に練習をしました。

運動会当日、ぼくはじゅんび万たんでした。最初にやったのは、全学年で行う大玉送りでした。次に各学年でちがう競技をしました。四年生はデカパンゴーゴーをしました。そして、ぼくは二位になってとてもうれしかったです。最後に、高学年でつな引きをしました。最終的にぼくのいる赤組が二百二点対百五十点で勝ちました。ぼくは今回も勝ててうれしかったです。

アメリカの小学校では同じような行事はありません。ほ習校の運動会は、毎年ちがった競技に参加できるので、次の運動会がとても楽しみです。

くやしかった運動会

佐々木 愛海

「負けちゃったよ。」

と、私(わたし)は、家に帰る車の中で、くやしい気持ちをおさえながら言いました。私は、今日の運動会で負けてしまったのです。私は、くやしいという気持ちをおさえられるかが分からなくなるほど大きい気持ちをおさえていました。

私がこんなにくやしい気持ちをいだいた理由は二つあります。

一つ目の理由は、運動会で、白組が負けてしまったからです。

二つ目の理由は、とても勝てる自信のあった競技のつな引きで負けただけです。

これらの理由から、私は、とてもくやしくてたまりませんでした。だから、車の中で、ずっとだまって心の中で、くやしい気持ちと戦っていました。

最後にくやしかったけれど、全力を出せてがんばれた事に気付いて思い出深い運動会になりました。

僕(ぼく)の日本の楽しみ

太田 エカム

僕は、毎年夏に日本に一時帰国します。その中で、僕が特に楽しみにして、必ず行く場所が二つあります。一つ目は大阪市立科学館で、二つ目は夢宇庵(むちゅうあん)です。

大阪市立科学館は、僕が一年生の時から、一時帰国のたびに必ず行くお気に入りの場所です。

この科学館の良いところは、主に二つあります。

一つは、プラネタリウムです。日本で四番目に大きく、入場者数は二位だそうです。今回のプラネタリウムでは、金星や夏の大三角形について説明がありました。僕も夜空で、金星と夏の大三角形を見つけてみたいです。

二つ目は、様々な日常(にちじょう)の科学を紹介(しょうかい)する展示(てんじ)です。僕は周期表(しゅうきひょう)の勉強をしたので、去年までは意味の分からなかった周期表の展示も、初めて面白(おもしろ)く思えました。

また、科学館の帰りに、いつもセブンイレブンに寄(よ)って、アイスクリームを食べるのも楽しみの一つです。

次に、僕の夏休みの後半(こうはん)の楽しみが、お母さんと行く夢宙庵(むしゅうあん)です。夢宙庵とは、兵庫県の田舎(いなか)にある古民家の名前です。今年もそこで子供達のための二泊(ふか)三日の合宿(ごしやく)に行きました。東京、和歌山、岡山、沖縄など日本の色々な場所から家族が集まりました。僕は、小学校一年生の時から参加(さんか)していて、今年で四年目です。

ここで楽しみなことの一つが、中学生のあいのすけのマジックショーです。目の前で信じられないようなマジックを見せてくれます。特に、カードを投(な)げて、ペットボトルをバットのよう(よう)に振(ふる)ると、決まったカードがペットボトルの中に入るマジックが一番面白(おもしろ)いと感じました。

三日目の昼(ひる)ご飯は、流し(なが)しそうめんでした。そのために一日目と二日目に、近くの竹(たけ)やぶに竹(たけ)を取りに行きました。そして、皆(みんな)で協力(きょうりょく)して竹(たけ)を切りました。次に枝(えだ)を切り、竹(たけ)を割(わ)りました。最後に、竹(たけ)の節(ふし)を取(と)って、流し(なが)しそうめんの台(たい)を組み立てました。

流し(なが)しそうめんの後はスイカ割り(スイカわり)をしました。スイカ割(わり)りは、背(せ)の低い順(ついで)で、一歳(さい)半(はん)から始(は)まりました。僕はスイカに当た(あた)ってうれしかったです。

大阪市立科学館も、夢宙庵(むしゅうあん)も、とても楽しかったです。どちらも何回(なんど)行(い)っても楽しい場所(ばしょ)なので、来年(らいねん)の夏(なつ)も絶対(ぜったい)に行(い)きたいです。

なつかしい中国。うれしい日本。楽しかった一時帰国

平井 花怜

私のお父さんは日本人で私のお母さんは中国人です。なので、今年の夏休み（二〇二五年六、七月）はその二つの国に行きました。

私達（わたしたち）は最初に日本に行きました。その時は六月で、とてもむし暑かったです。飛行機からおりると、うれしさがこみ上げてきました。日本の家に着いた時間はとてもおそくなりました。げんかんを入ると一まいの紙がおいてありました。そこには「今夜はおそいから、あしたの朝、家に来てや。おやすみやわ」と書いてありました。それは、私のおばあちゃんからのメッセージでした。おばあちゃんの家は私の家から歩いて一、二分しかかからないので、日本にいたときは毎日行っていました。

次の日は、おばあちゃんの家にとまりました。夜いっしょにねれると思つて最高の気分でした。朝はたまごかけご飯を食べてからテレビを思いっきり見たり、その日は最高の一日でした。それから二週間、日本で楽しい毎日を送りました。

七月に入って次は中国に行きました。中国には六、七年行つていなかったのですが、中国のおじいちゃんとおばあちゃんに会えてとてもうれしかったです。中国で食べたザリガニ料理は、本当においしかったです。中国のおじいちゃん、おばあちゃんはおかしをたくさん食べさせてくれました。こんにやくゼリーなどがあつて、とてもおいしかったです。ひさしぶりの中国はとてもいい思い出になりました。

日本も中国もまたすぐにもどれたらいいなと思います。日本でのたまごかけご飯などアメリカでは食べられないものや、中国のザリガニたちはおいしくて、いい気分になりました。それら思い出は私の「ザ・ベスト・メモリー・オブ・マイライフ」です。

大自然だらけの夏休み

宮下 壱琉

ぼくは、夏休みにいろいろな所に行きました。

まずはカナダにあるナイアガラの滝を見に行きました。目の前にある三つの滝（たき）の音が重なり、「ゴォー」と体中に音がひびき渡りました。あまりにも大きな音だったので、周りの音が一切（いっさい）聞こえなかったです。その後、船に乗って滝のすぐ近くまで行きました。滝はまるで、水の入った巨大なバケツをひっくり返したかのようにはく力があり、下から見るとすごい速さで水が落下していました。ポンチョを着けていても、ぼくの体は強風と水しぶきでびしょびしょになりました。夜には、大きな花火を打ち上げていて、とてもきれいでした。もう一度、あの水しぶきを浴（あ）びたいです。

次に、イエローストーンとグランドキャニオンに行きました。

イエローストーンには多くの温泉がありました。その温泉の近くに行くと湯気が体全体にかかりました。有名な温泉の一つは、色がオレンジ、黄色、水色、青色でした。この温泉の色は、どうやって自然でできたのかと不思議に思いました。そして、少しはなれたところにあるオールドフェイスフルという場所に行きました。ここでは、数時間に一回の間かくで五十メートルくらいの高さの熱湯がふき上がっていました。いったいどうやってあの高さまでふき上げているのだろうかと思いました。

グランドキャニオンでは、アンテロープキャニオンという場所に行きました。そこへは、せまい道を通って行き、まるでどうくつのようでした。自然でできた岩の割（わ）れ方がきれいだと思います。

最後に馬のひづめの形をした谷で有名なホースシューベントを見に行きました。びっくりしたことは、全部自然で出来ていたことです。雨や風などの力で馬のひづめの形をした谷になったことにおどろきました。

この夏休みに行った全ての場所は、ぼくの一生の思い出になると思っています。

さく島

成瀬 桃李

七月十三日、さく島に行きました。毎年のように、いとこと行くので今年もとても楽しみにしていました。

朝から天気がよく、海の青さがきれいでわくわくしました。島に着いたら、まずキャンプのじゅんびをしました。木を集めることからはじめました。大きな木や小さな木を見つけて、みんなで力をあわせて運びました。木を集めている間、いとこが気持ちが悪くなってしまいました。顔が青くなって、すわりこんでしまったので心配しました。そこで、たにさんという人がすぐにいとこのお母さんに電話して、いとこはそのあと、みんなより早く帰ることになりました。いっしょに遊べなくなつてさびしかったけれど、ゆっくり休んでほしいと思いました。

お昼になったので、ごはんを作りました。メニューは、カレー、シチュー、そうめんです。どれも食べたかったので、選べずに全部作ることにしました。カレーは野菜を切つてにこみました。シチューはミルクを入れてクリームのようにしました。そうめんは水でひやしてつるつるにしました。

時間はかかったけれど、みんなで手つだつて作ったので楽しかったです。できあがったごはんはとてもおいしくて、がんばつてよかったと思います。おなかがいっぱいになって、みんなで

「おいしかったね」と話しました。

ご飯のあと、海に行きました。海はきらきらひかっついていて、とてもきれいでした。海の水はつめたくて気持ちよかったです。

石をどかしてカニをさがしました。小さなカニや他の生きものを見つけれうれしかったです。カニがすばやくにげるので、つかまえるのがむずかかったけれど、見つけるだけでも楽しかったです。

そのあと、たにさんが作ったおふるをこわしていたら、木の中にあるがたくさんいてびっくりしました。黒いありが木のすきまから出てきて、みんなで「わあ！」と声をあげました。ありをよけながらそうじをして、キャンプのあとかたづけをしました。ごみを拾つて、島をきれいにしてから出発しました。

家に帰ると、つかれていたらけれど楽しい気持ちでいっぱいでした。海やご飯作り、カニさがしなど、どれも思い出になりました。いとこが早く帰ってしまったのはさんねんだったけれど、またいっしょに行けるといいなと思います。

さく島は、とてもすてきなところなので、こんど行くときはもっと長くみたいです。

温せん

アデニラン 海杏

夏休みに、日本で温泉旅行に行きました。家族と親せきと車二台で箱根に行きました。

行く途中、川で魚つりをしました。つりざおにエサのいくらをつけてつりました。わたしも、たくさん魚がつかれました。つれた魚は、食べないで返しました。

ホテルに着くと、すぐにみんなで温泉に入りに行きました。温泉は内と外のお風呂がありました。わたしは、いとこと外のお風呂で、うどん屋さんごつこをして遊びました。

夜は、みんなでパーティーをしました。子供のごはんは、ハンバーグ、えびフライ、カニのポテトサラダなどが、かわいい箱に入ってい

ました。でもあまり美味しくなかったです。みんなで、ごはんを食べた後、部屋で遊びました。子供は、ふとんを海の代わりにして、泳ぐふりをして遊んだりしました。

わたしは、みんなで日本の温泉に行くのが大好きです。いとこと一緒にお風呂に入ったり、ねるまで遊んだりできるからです。

また日本に行つて、みんなと温泉に行くのが楽しみです。

大阪へ旅行

神谷 英志

七月十五日に、大坂へ旅行に行きました。十五日は、大阪観光をしました。そこでは、通天閣（つうてんかく）を見ました。通天閣の一番上までは登れませんが、そのかわりに、通天閣の地下へ行きました。そこには、いろいろなおかしグッズなどを見ました。ホテルも、和風で、かなり美しかったです。

七月十六日と十七日は、大阪万博へ行きました。万博会場に着いたときに、雨がふりだしたので、すぐくぬれてしまいました。ようやく列からぬけられました。どのパビリオンも楽しんでいました。そこで、ぼくの姉が

「ベルギーがすいてるよ！」

と言いました。そのためぼくたちは、ベルギー館に行きました。

ベルギー館では、入場したらクッキーがもらえました。ベルギーはいろいろときれいで、さらに、「ベルギーはワクチンを作っている。」など勉強もできました。

たくさんパビリオンがある中、特に印象にのこったパビリオンは、ガスパビリオン、おぼけワンダーランドです。ここは、どこかの国ではなく、VRができるアトラクションです。おぼけワンダーランドは

予約しないといけないので、予約ができたときは、すごくうれしかったです。

このように、大阪旅行は最高でした。

グランドサークル家族旅行

落合 柊花

わたしはグランドサークルを回る二週間の旅行に行ってきました。

まず、ラスベガスでマイケル・ワシントンというショーを見ました。お母さんが前から二番目の席を予約してくれたので、細かい部分がよく分かりました。例えば、お父さんはマイケルがかたむくところから床からクギが出てきて、くつのくぼみに入るところを見たそうです。

二日目は、グランドキャニオンに行きました。日の入りを見に行くのと、目の前に広がるけい谷とコロラド川の絶景（ぜっけい）に目をうばわれました。

三日目は、サウスカイバブトレイルを歩きました。ウーアーポイントに着いて、もつと近くでけい谷を見ることができたので、大満足でした。

五日目にはアンテロープキャニオンへ行きました。せまいきょう谷に入ると波うつようなくぼみがたくさんあって、とても美しかったです。と中でガイドの人がきれいな写真をとるためのコツをたくさん教えてくれました。わたしの記憶に一番残ったことは、ある場所は目では見えないけれど、カメラで写すと光と影（かげ）がハチ鳥に見えることでした。

その後はホースシューベンドという馬ていの形の川が流れている所で、写真を撮りました。

六日目は、モニュメントバレーにあるホテルで、ビュートという地形を見ながらおしゃべりをしました。

八日目は、メサベルでのクリフパレスツアーに行きました。クリフパレスとは昔プロ族が住んでいた住きよの一つです。がけのど中であつて、私たちが行った所には百七十人前後の人が住んでいて、百五十以上の部屋があるそうです。わたしたちが見たのは、キバというぎ式を行う場所でした。

九日目は、アーチーズ国立公園に行きました。三時間のトレイルを歩くと中で二つ登れるアーチに登りました。そのうちの一つはアーチの向こう側に目標のデリケートアーチが見え、とてもきれいでした。歩くのは大変でしたが、終点に着くと、来てよかつたな、と思ひました。そこにあつたのは見わたすかぎりの絶景(せつけい)でした。どこを見ても遠くのみみやくやアーチがあり、最高のながめでした。

最後は、ブライスキヤニオンとザイオンに行きました。ブライスキヤニオンではナビホールプというトレイルを歩いて、すごい景色をみました。一つはツープリッジです。自然にできた二つの石の橋で、自然にできたとは信じられません。もう一つは終点から振(ふ)り返つて見た景色です。今まで歩いてきた道が光つて見えて、言葉が出ないような景色でした。

その後行つたザイオンでは、思ひがけない目にあひました。川ぞいのトレイルを歩いていけると中で土砂降(どしゃぶ)りにあつて、みんなひなんしました。今までにないほどの大雨で、こう水の注意アラームも鳴り、山の天気は変わりやすいので気を付けないといけないなと思ひました。その代わり、雨がふつた時にしか見られないときが見られて、うれしいこともありました。

ラスベガスに帰ると、お母さんがラーメン屋さんに連れて行つてくれました。それを最後に、グランドサークルの旅は終わりました。今までで一番の旅行でした。

小アジを大量につつた日

武田 壮二郎

昼ご飯の直後、車に乗りつりのえさを買いに行きました。そして、橋を渡りとなりの島に行きました。一日の中で一番暑い時間に着いたので、人は数人しかいませんでした。

あみの中にえさを入れ水に入れたしゅん間、五つのはりのうち三つに五センチメートルほどの小さい小アジをつることができました。

あつという間に、三十ぴきほどつれました。およそ三十ぴき目に、弟が長さ十五センチメートルのアジをつりました。一時間半の間に、八十ぴき以上つれました。つつたアジを全てす揚げにしましたが、二日間食べても残つて、結局ほとんど捨てることになりました。次に日本に行ったときは、もっと大きいのをつりたいです。

「白いぼうし」感想文

稲垣 かなみ

私は、白いぼうしを読んでふしぎなお話だと思ひました。理由は二つあります。

一つ目の理由は、第三場面で、おかつぱの女の子が急に、タクシーに乗つていたからです。なぜなら、なにも音をたてずに乗つていたからです。それに私は、その女の子はこの町を知らないのに、松井さんのタクシーに乗つていたのが気になりました。

二つ目の理由は、第四場面に、

「バックミラーには、だれも映っていません。」

と、あります。これをふしぎだと思った理由は、バックミラーには、女の子のかげも形もなかったからです。そして、そのあとふしぎでした。なぜならたんぼ畑にいて、松井さんは、

「よかったね。」

「よかったね。」

と聞こえたからです。

「二つの花」を読んで

國富 遥斗

「二つの花」は、戦争の物語です。主人公のゆみ子は、小さな女の子で、「一つだけちようだい」が口ぐせです。そんなゆみ子を見て、お父さんとお母さんは、たくさんちようだいと言うことを知らずに、すすことになるかもしれないゆみ子をかあいそうだと思っています。そしてお父さんも戦争に行くことになりました。そこでも、ゆみ子が「一つだけちようだい。」

と泣きだしてしまいました。お父さんが、一輪のコスモスの花をあげると、ゆみ子がよろこびました。お父さんは、それを見て汽車に乗って戦争に行っていました。

ぼくはこの物語を読んで、とくにお父さんが戦争に行く場面までがとても悲しかったです。戦争に行くと、死んでしまう人が多いので、物語を読みながら、きつとお父さんは帰ってこれないだろうなと思います。だから、十年後のゆみ子が、お父さんの顔をおぼえていないと知り、やはり死んでしまったと悲しくなりました。

戦争が終わった後は、ゆみ子が、いもやかぼちゃだけではなく、肉や魚が食べられる生活になりました。そして、お父さんがくれたコスモスの花がたくさんさいている家でくらしています。

最後はゆみ子が、平和な世界で生活している様子で物語が終わり、良かったなと思いました。

お礼の手紙

朝ばん冷えこむ季節になりました。カネカのみな様お元気ですか。先週、カネカのひみつを教えていただいた、ヒューストン日本語補習校四年A組の小田嶋洋です。

この間は、カネカのものすごいひみつを教えてください、本当にありがとうございました。ぼくが特にすごいと思ったのが「グリーンプラネット」です。「グリーンプラネット」は、植物の油から作られ、使い終わった後は分解されて土や海にかえることを知りました。

通常（つうじょう）のプラスチックは石油から作られますが、グリーンプラネットは植物油から作られます。なので、生物に分解されやすく、自然にもかえります。自然の物から作り、自然にかえす事を「じゅんかん」と言います。このように、「じゅんかん」する物を作っているカネカの取り組みはごみをへらし自然を守るので、ぼくはすごいなと思いました。

またいつかもう一度、工場見学をしたいです。なぜなら、カネカがごみをへらす取り組みをもっと調べてみたいからです。

これからも、お体にお気をつけください。さようなら。

十一月二十二日

小田嶋 洋

カネカのみな様